

平成23年度 市民アンケート

ふるさと留萌への想いをお聞きしました

地元産品を大切にす市民

昨年のアンケートと比べると、地元産品を意識して買い物をしてる人が6・5%増の42・1%、普通が0・9%減の36・4%となっており、地元産品への意識付けがされてきている傾向が見られます。また、上記のとおり健康管理に気をつけている人が増えており、るもい健康の駅の事業効果もあり、市民の意識に定着しつつあります。高齢者や障がい者の方々がいきがいを持って暮らしていると感じている人は4・5%増の11・6%となっています。

清潔・安全で暮らしやすいと感じている人は、2・0%減の20・7%となっています。

懐中電灯や携帯ラジオ、飲料水や食糧などの備蓄、救急用品などを準備している人が3・9%増の27・6%、準備していない人が6・5%減の41・1%となっており、3月に発生した東日本大震災の影響からか、災害などへの備えの意識付けが高まってきている傾向が見られます。

平成23年度市民アンケート

- 調査対象 満16歳以上の留萌市民1,000人
(住民基本台帳から無作為抽出)
- 調査期間 平成23年5月10日(火)～25日(木)
- 調査方法 郵送による配布及び回収
- 調査内容 市民の満足度調査82問・市の仕事の優先度調査76問
- 回収件数 379件 (昨年度比3件減)
- 回収率 37.9% (昨年度比0.3%減)

市では、平成19年度より「誇りと満足を目指すみなとまち留萌」をテーマに第5次留萌市総合計画を策定し、さまざまな施策に取り組んでいます。この計画に基づき、市役所の仕事や市民の皆さんの暮らしにどんな成果や効果を出せたのかを判断し、これからの仕事の内容を見直すために、毎年アンケートを実施しています。

このアンケートでは、市民の皆さんの行政サービスに対する満足度や市の仕事の優先度をお聞きし、これからの施策に活かし、安心、充実のまちづくりができるように、市政運営に努めていきます。

文化と歴史を大切にす市民

今年度の市民アンケートで最も満足度が高かったのは、昨年度と比べて3・0%減で61・3%となつ

た「文化・歴史を大切にしたい」で、2年連続の1位となりました。市民の皆さんの郷土の文化や歴史に対する思いの深さが示されています。また、昨年度3位の「健康管理に気をつけている」は、1・6%増の57・4%で2位に、昨年度2位の「自然のすばらしさ」は8%減の56・2%で3位となっており、満足度の上位3位までは昨年度と同じ項目となりました。

今年度新たに、施設の休止や市民の皆さんの負担増といった、財政健全化に関する3項目が10位以内に入っており、市民の皆さんの健全化への理解の深まりを感じます。

一方、昨年度10位以内だった「栄養バランスの取れた給食メニューであること」「留萌のまちなみ(景観・眺め)のすばらしさ」「自然に親しむ機会があること」は10位圏外に順位を落としました。

市民の満足度ランキング

※は財政健全化項目のため、理解されてきた割合を示しています。

順位	調査項目	満足度	比較 (昨年度数値)
1	文化・歴史を大切にしたい	61.3%	↓ (64.3%)
2	健康の管理に気をつけている	57.4%	↑ (55.8%)
3	自然のすばらしさ	56.2%	↓ (64.2%)
4	学校スキー授業の保護者負担 ※	51.8%	↑ (20.4%)
5	地域の産業を育成し、支援すること	47.1%	↑ (45.3%)
6	ロードヒーティングの休止 ※	44.1%	↑ (17.1%)
7	地元産品であることを意識して買い物をしている	42.1%	↑ (35.6%)
8	ごみを減らし、リサイクルすること	41.2%	→ (41.2%)
9	道内各地への鉄道や道路による交通の便がよいこと	41.1%	↑ (34.4%)
10	温水プール『ぶるも』の休止 ※	40.4%	↑ (13.2%)

昨年度より良くなった上位3項目

「地域医療が充実し、安心して暮らせること」

22.7% (8.4%増)

「病気やケガをしたとき、いつでも安心して診断や治療が受けられること」

19.8% (8.0%増)

「道内各地への鉄道や道路による交通の便がよいこと」

41.1% (6.7%増)

昨年度より悪くなった下位3項目

「老後の暮らしに不安や心配を感じる」

84.0% (31.4%増)

「現在の暮らしに不安や心配を感じる」

75.2% (28.6%増)

「栄養バランスのとれた給食メニューである」

38.8% (11.4%減)

暮らしの不安を感じている市民が増加

昨年度より市民の満足度の割合が良くなった上位3項目は、「地域医療が充実し、安心して暮らせること」「病気やケガをしたとき、いつでも安心して診断や治療が受けられること」「道内各地への鉄道や道路の交通の便がよいこと」でした。

安心して暮らせるための医療体制の充実や、市外への交通の便の良さに満足している皆さんが増えてきていることが表れています。

一方、昨年度より市民の満足度の割合が悪くなった下位3項目は、「老後の暮らしに不安や心配を感じる」「現在の暮らしに不安や心配を感じる」「栄養バランスのとれた給食メニューであること」でした。中でも、「老後の暮らしに不安や心配を感じる」「現在の暮らしに不安や心配を感じる」の2項目は昨年度と比べて約30%上昇しており、現在や未来の生活に対して、希望を持ちにくい現状を示しています。

市の仕事の優先度ランキング

順位	大まかな市の仕事	細かな市の仕事	優先度	比較 (昨年度数値)
1	都市機能の充実	にぎわいのある 中心市街地の再生	54.6%	↗ (51.4%)
2	地域産業の 育成と支援	雇用・労働の確保	50.4%	↘ (52.5%)
2	市民生活の 基盤づくり	効率的な除排雪	50.4%	↗ (47.8%)
4	安心できる 地域医療の充実	信頼される 医療サービスの提供	50.1%	↘ (50.3%)
5	災害に強い 地域づくり	総合的な 防災体制の確立	47.8%	↗ (31.8%)
6	健康の維持と増進	予防や健康づくりの 推進	47.5%	↗ (44.8%)
7	地産地消と 一次産業の推進	地場産品の消費拡大	45.6%	↘ (45.9%)
8	市民生活の 基盤づくり	ごみの減量・資源化	45.1%	↗ (42.3%)
9	能率の良い 市役所づくり	財政の健全化	44.1%	↘ (51.7%)
10	安心できる 地域医療の充実	地域医療の充実	43.8%	↘ (54.1%)

上の表にあるように、今年度最も優先度が高かったのは、「にぎわいのある中心市街地の再生」で、昨年度比3・2%増の54・6%で、昨年4位から1位まで上昇しています。市民の皆さんのまちに活気を取り戻したいという強い思いが表れています。

一方、昨年度1位だった「地域医療の充実」が10・3%減の43・8%で10位となっており、医療体制が充実してきているという実感が感じられます。

また、昨年度25位だった「総合的な防災体制の確立」が、16・0%増の47・8%で5位に上がって

防災体制の確立が 25位から5位に上昇

おり、3月に発生した東日本大震災により防災の重要性が再認識されたことが背景にあると考えられます。

大まかな市の仕事の項目を見ると、「安心できる地域医療の充実」が2項目、「健康の推進と維持」が1項目入っており、市民の皆さんの健康に対する意識の高さが示されています。

これからも市民の皆さんとの対話を進め、ご意見をいただきながら市政に反映していきたいと考えております。



市民アンケートでは、満足度調査とともに、市の仕事を細かく76種類に分け、優先すると思う仕事に○を付けていただく「市の仕事の優先度調査」も行いました。

「市の仕事の中で優先度の高いものは何ですか?」

『子どもの育成と支援』の項目の昨年度との比較

- 子育てしやすいまちだと感じる
17.1% (0.5%減)
- 地域ぐるみで子どもを育成し、支援する
13.2% (1.9%減)
- 子育てしながら働ける環境がある
12.5% (3.7%増)
- 充実した幼児教育を受けられる
11.0% (0.3%減)
- 充実した障がい児療育を受けられる
9.6% (0.4%減)



子ども夢物語

子どもたちの夢と可能性
が育つまちづくり

子育てしながら 働ける環境が増加

市では今年度、「子ども夢物語」をテーマに、「地域とともに 健やかに 子どもとその親が育つまちづくり」を目指し、子どもと子育て家庭を支援しています。

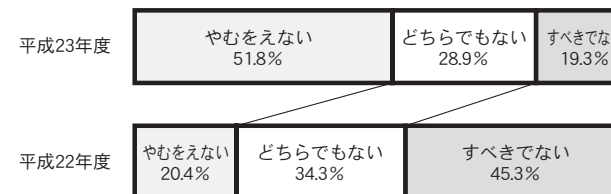
子どもたちの豊かな心を育むためには、地域と家庭の連携が必要ですので、子どもたちの「思いやりの心」「確かな学力」を育む取り組みを進めています。

満足度アンケートの中には、『子どもの育成と支援』に関する質問は5項目ありますが、上の表にあるように、「子育てしながら働ける環境があること」が昨年度と比べて3・7%増の12・5%となりました。

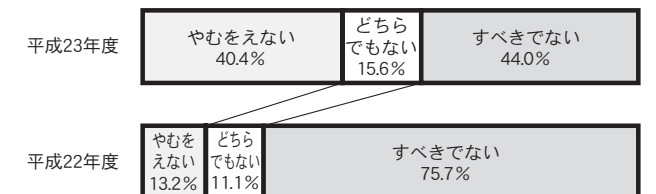
一方、昨年度と比べて減少したのは「子育てしやすいまちだと感じる」「地域ぐるみで子どもを育成し、支援する」「充実した幼児教育を受けられる」「充実した障がい児療育を受けられる」の4項目でした。

財政健全化計画実施項目の昨年度との比較

Q. 学校のスキー授業の保護者負担について
どう思うか



Q. 温水プール「ぷるも」の休止について
どう思うか



市・企画調整課
☎42・1809

平成23年度市民アンケートについてのお問い合わせは